



2023年5月11日

各位

会社名 電気興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 近藤 忠登史
(コード番号 6706 東証プライム市場)
問合せ先 取締役執行役員 浅井 貴史
(TEL. 03 - 3216 - 1671)

2023年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異及び 通期個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

2023年3月24日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2023年3月期の通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 32,000	百万円 △ 1,800	百万円 △ 1,500	百万円 △ 1,700	円 銭 △ 153.38
実績値(B)	31,817	△ 1,510	△ 1,219	△ 1,114	△ 101.70
増減額(B-A)	△ 182	289	280	585	—
増減率(%)	△ 0.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	33,968	53	448	705	59.51

(2) 差異の理由

売上高は若干の減収となりましたが、営業利益及び経常利益につきましては、原価低減や経費削減を継続して取り組んだことに加え、退職給付債務の割引率の見直しによる国内子会社の退職給付費用の減少の影響等により、前回予想に比べ増益となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、経常利益の改善に加え、前回予想で見込んでいた投資有価証券評価損の減少、政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益の計上及び組織再編で見込んでいた事業整理に係る当連結会計年度に見込む費用の見直しの影響等により、前回予想に比べ増益となりました。

2. 通期個別業績と前期実績値との差異について

(1) 2023年3月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 27,310	百万円 139	百万円 759	百万円 1,032	円 銭 87.01
当期実績値 (B)	25,254	△ 1,171	△ 452	△ 570	△ 52.05
増減額 (B - A)	△ 2,056	△ 1,310	△ 1,212	△ 1,602	—
増減率 (%)	△ 7.5	—	—	—	—

(2) 差異の理由

通期の業績につきましては、売上高は主に移動通信関連分野において顧客の設備投資の抑制から、需要の落ち込みや先送りの影響等もあり前期実績に比べ減収となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、減収に加え、部品等の長納期化による工期及び納入の遅延等に加え、エネルギー及び部品等の価格高騰、円安による海外からの調達コストの上昇等の原価上昇要因もあり、前期実績と比べ減益となりました。当期純利益につきましては、経常利益の減益に加え、事業再編を進めている在外子会社の株式の評価損及び貸付金の貸倒引当金の繰入れ等により前期実績に比べ減益となりました。なお、当該株式の評価損及び貸倒引当金繰入額については、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はございません。

以 上